



第4回  
おおさか優良緑化賞  
受賞事例集





## ■表彰の目的■

大阪府自然環境保全条例等に基づいて緑化がなされたもののうち、府内の都市環境の改善に特に貢献する緑化や建築物敷地内の魅力向上に資する緑化、新たな緑化手法のモデルとなる等の優れた取組みを顕彰することで、民間施設等において、より質の高い緑化を普及・推進することを目的としています。

## ■応募対象■

1,000㎡以上の敷地を有する施設で、大阪府自然環境保全条例第33条で緑化の義務が課せられたもの及び同第35条第3項に該当するもの、若しくは同第38条で規定する市域において緑化の義務が課せられたもののうち、顕彰実施年度の前5年度<sup>※</sup>から前年度までに緑化が完了したもの  
(※平成18年度以降に限る。応募方法の詳細は裏表紙参照)

## ■ 総 評 ■

審査委員長 増田 昇

第4回目を迎えた本年は集合住宅をはじめ事務所・店舗や銀行、病院や大学、工場等多岐に渡る29施設から応募があった。定量的な3指標から評価する1次審査を経て上位21施設を2次審査の対象とした。2次審査では応募資料に加えて詳細な現地調査からの写真とコメントをもとに審査委員間の論議を経て、知事賞3施設と奨励賞7施設に加え、生物多様性条約第10回締約国会議が名古屋市で開催されたのを記念して生物多様性賞1施設を選出した。

本年は応募施設が多岐に渡ったこともあり、受賞施設も多岐に渡っているが、その中で知事賞も集合住宅と銀行、鉄道駅といったようにバラエティに富んでおり、各々の施設の特性に応じた緑化の先導的なモデルの一端を提示することが出来たのではないのでしょうか。また、本年の記念とした生物多様性保全への取り組みは、これにまさに適合した施設が複数見られた中で、工場という制約の中で積極的に取り組まれた施設を選出することができ、人間生活への配慮ばかりでなく「生き物」への配慮も図られた優良な事例を紹介することができた。

### 「おおさか優良緑化賞」選考委員 ※50音順

遠藤 尚美【副委員長】	有限会社 サステイナブル・e 取締役
中井 美樹	株式会社 産業経済新聞社 社会部堺支局記者
増田 昇【委員長】	大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科教授
間宮 吉彦	株式会社 インフィクス 代表取締役社長
山田 宏之	和歌山大学 システム工学部准教授

### 【表紙デザイン】

このパンフレットの表紙は、大阪芸術大学の協力を得て、学内コンペから選ばれたデザインを使用しています。

### (デザインコンセプト)

「都市・自然・緑化のイメージから、緑葉をモチーフに創造する世界を、文字という形態に組み立て、都市・自然・緑化を象徴する表現を試みました」

大阪芸術大学デザイン学科 田島 知華





## グランドメゾン西九条BIO

所在地：大阪市此花区西九条

主用途：集合住宅

建築主：積水ハウス 株式会社 大阪マンション事業部

株式会社 長谷工コーポレーション

設計：(株)長谷工コーポレーション

大阪エンジニアリング事業部

建築施工：(株)長谷工コーポレーション

造園施工：(株)対馬造園店

### ■ 講 評 ■

本施設は大阪市此花区の六軒家川沿いの工場跡地に環境創造型プロジェクトとして開発された集合住宅である。

高層ビル群に囲まれた中庭は、故郷の里山をテーマに広大なビオトープが形成され、深い緑で落ち着いた空間となっている。ケヤキやアキニレ、ヤマザクラ、ヤマボウシなど多くの高木が導入され、盛り土とあわせて視覚的な効果が高く、木陰に入ると建物が隠れてしまうほどの存在感がある。ビオトープを形成する帯状の池にはメダカやタナゴ類も放流されている他、生き物の視点から樹種が選択されているなど生物多様性の創成に配慮されている。川沿いには地域に開放された提供公園も配置されていることや進入路にもケヤキをはじめとする高木が多数植栽されており、周辺地域への緑の提供も積極的に行われている。

(委員長 増田 昇)



里山ビオトープのケヤキ



中庭に設けられた広大なビオトープ



ビオトープの水流の湧き出し口より



(上) ビオトープ池 (下) 通路沿いの緑化



進入路の緑化





## 京都銀行 門真支店

所在地：門真市柳町

主用途：銀行

建築主：株式会社 京都銀行

設計：大和ハウス工業(株)

建築施工：大和ハウス工業(株)

造園施工：富士造園土木(株)

### ■ 講 評 ■

本施設は門真市駅に近い中心市街地にあります。コンセプトは「森の中の銀行」、小規模で緑地面積は少ないながら、生き生きとした植物が豊かで落ち着いた景観をつくっています。特に植栽基盤の土壌と灌水設備を充実させることが優先されており、また継続的に質の高い管理が行われているため、この夏の猛暑の影響を受けることなく竣工時よりもより豊かな緑の形成に繋がっています。近年、グリーンニューディールやエコファンドという言葉も良く耳にする時代です。一般の人から企業まで幅広く利用される銀行が、率先して緑の育成をされている事は利用される方にホッとさせる空間を提供するだけでなく、今後の緑の波及にも大きく貢献されることと期待しています。

(副委員長 遠藤 尚美)



駐車場緑化と  
ラカンマキの生垣



店舗入口からの景観



店舗前のポリュームのある緑



2階部分の屋上緑化



屋上から



(左) レッドロビンの生垣



(右) ヘデラの壁面緑化

敷地の南北を通る通路沿いの緑化





## 阪急摂津市駅

所在地：摂津市千里丘東

主用途：鉄道駅

建築主：阪急電鉄 株式会社

設計：(株)アーバン・エース

建築施工：(株)熊谷組

造園施工：(株)クリエイティブ阪急

### ■ 講 評 ■

本年3月14日に開業した新しい駅で、二酸化炭素の排出量を実質ゼロにした鉄道駅として全国的なニュースになりました。鉄道駅の建物は、機能性をギリギリまで追及するために、緑化を行える余地に乏しく、緑化制度適用除外を打診されることが多いと聞きます。そのような難しい対象であるにも関わらず、府の基準を大幅に上回る緑化率を達成しています。これには、壁面緑化技術の積極的な活用といった点が大きく寄与しています。また、狭小敷地における壁面緑化の問題点の一つである水分供給に関しても、雨水利用の自動灌水装置が設置されて有効に機能しており、今後の都市緑化の方向性を示す、非常に良い事例になっていると思います。

( 選考委員 山田 宏之 )

駅舎東側の景観



接道部の壁面緑化（ヘデラ・ワイヤープランツ）



接道部の壁面緑化（オオイトビ）



駅構内からの景観・春には花の彩りも楽しめる植栽



（ヘデラ・ハーデンベルギア・テイカズラ）

壁面緑化（ヘデラ・ピグノニア）





# 生物多様性賞

## 平和製罐 大阪工場

### 講評

アルミ金属加工工場。建て替えに伴い、設計コンペでピオトープを盛り込んだ計画を採用した。ピオトープは、地被類や草木類が豊富。完成を記念して、従業員やその家族がクロメダカを放流した。工場の担当者によると、メダカの存在が従業員の緑化への関心向上に一役買っているという。メダカの成長が気になる従業員がピオトープを観察するようになり、同時に、ピオトープ周辺やほかの緑地の管理にも積極的になったという。

また、府基準に対する緑化率が315%で、新築工場としては際だっており、選考会でも「後に続く工場が増えてほしい」と評価を集めた。

(選考委員 中井 美樹)

ピオトープのせせらぎ



エントランス内からの景観



利用にも配慮された緑地設計

所在地：泉南市りんくう南浜

主用途：工場

建築主：平和製罐 株式会社

【設計】高松建設(株)大阪本店一級建築士事務所 【建築施工】高松建設(株)大阪本店 【造園施工】(株)田中造園土木

# 選考委員会奨励賞

### 講評

建造物は竣工され使用されていくと時代と共に風化されていきます。しかし緑化された環境は年を重ねるごとに成長して周りの景観として街を形成します。

この土佐堀ダイビルは、都心のオフィスビルとして最新の設備を備えた空間だと思います。

無機質になりがちな建物の意匠を取り囲むように、多層的で、厚みのある街路樹を敷地内に設置されています。また、高木の配置はエントランスホールの吹き抜け空間に変化をもたらし、まとまりのある緑化空間を提供しています。

施設内からの視覚的にも都会の喧噪を和らげ、快適な空間づくりがされています。東面に緑化された街園もこの地域の新たなコミュニティーの場として活用されることと想います。

(選考委員 間宮 吉彦)

## 土佐堀ダイビル



都心の喧騒を和らげる緑化



施設内からの景観



街路樹の強化

所在地：大阪市西区土佐堀

主用途：事務所・店舗

建築主：ダイビル 株式会社

【設計】(株)日建設 【建築施工】竹中工務店・大林組・鴻池組共同企業体 【造園施工】住友林業緑化(株)



■ 講 評 ■

堺市の再開発エリアに計画された大規模な集合住宅です。集合住宅とは、人と人が集合して住むということが特徴となる建造物です。

しかし、人が集合して住む住宅は住戸だけでは完結しません。敷地と建物の配置で出来る空地をどのように暮らしに活用できるかが豊かさを形成することに繋がります。

本物件は敷地に対して採光への配慮を考えながら、中庭を取り建物を囲むように緑化されています。中木、高木の樹木の多用も、建物の圧迫感を緩和することに役立ち、周囲に緑量を感じる景観が創られています。

一般的な集合住宅の評価をみると立地や利便性、施設の充実が評価の対象になっていますが、大規模な集合住宅こそもっと緑化を取り入れ、ヒートアイランド対策や都市の魅力アップなど、広域な緑化計画に取り組んでもらいたいと思います。

( 選考委員 間宮 吉彦 )

サウスオールシティ



園路を張り巡らした中庭の庭園



入口に高木を多用



桜並木の自主管理公園

所在地：堺市西区鳳南町  
 主用途：集合住宅  
 建築主：名鉄不動産 株式会社  
 平和不動産 株式会社  
 株式会社アーバネックス  
 株式会社長谷エコーポレーション

【設 計】・【建築施工】(株)長谷エコーポレーション 【造園施工】(株)日比谷アメニス

佐野記念病院・介護老人保健施設栄公苑



施設正面の緑化

所在地：泉佐野市中町  
 主用途：病院  
 建築主：社会医療法人 栄公会



屋上緑化



階段状の緑化



吹き抜け部分の緑化

■ 講 評 ■

一般病床95床の医療施設。老人介護施設55床も併設している。外観から感じる緑量は少ないが、中庭や階段状の施設構造を利用した屋上緑化により複層的な緑化を実現している。植物だけでなく、光や風など、自然を建物に取り込む工夫がみられる。関係者によると、計画した際、彫刻などを置くよりも自然を感じる方が利用者は癒されるとして、緑化に重点を置いたという。待合室や廊下、食堂などもガラス張りで緑が見えるようになっている。建物内で長く過ごさざるを得ない、施設利用者にとって、緑の風景が気持ちを和ませるものとなっていることが推測される。

( 選考委員 中井 美樹 )

【設 計】(株)日建設計 【建築施工】安藤建設(株) 【造園施工】(株)日比谷アメニス



## 選考委員会奨励賞

### ダスキンスクール



施設全景

所在地：吹田市芳野町  
主用途：研修施設  
建築主：株式会社 ダスキン



屋上緑化



緑道沿いの壁面緑化

【設計】(株)奥井設計工房 【建築施工】(株)竹中工務店 【造園施工】(株)ダスキントールグリーン服部南店

### 講評

本施設は約7.1haという広大な敷地に対して緑化面積が約2.0haにおよぶ広大な緑地を持った施設である。施設の中心の一方には外周部に保全された既存樹林を持つ広大な芝生広場が配され、その既存樹林を背景に枯山水型の厚みのある日本庭園が造営されている。もう一方にはサンクンガーデンを含む中庭が配され、すっきりとした高木と芝生面が施設内部からも眺められる構造となっている。施設内のメインの動線沿いも積極的な緑化が図られており施設のエントランス部と同様に緑の景観演出が考慮されている。施設外周部の斜面を中心に既存樹林を保全するとともに既存樹の移植も積極的に行われており、緑の保全に取り組まれている。緑地が広大であり、定期的・網羅的な維持管理によってより豊かな緑が形成されていくことが期待される。

(委員長 増田 昇)



既存樹を保存しつつ緑地整備



日本庭園

### 武田薬品研修所



中庭とサンクンガーデン

所在地：吹田市山田南  
主用途：研修施設  
建築主：武田薬品工業株式会社



施設全景

【設計】(株)東畑建築事務所、景観設計室ダブル・ラサ  
【建築施工】(株)大林組 【造園施工】(株)辻本龍松園



■講評■

府の緑化基準に対する充足率は126.7%と、他の受賞事例と比べて特に大きい訳ではありません。しかしながら、実際に目にする緑のボリューム感は非常に大きく、数値以上の緑量を感じます。これは竹類など、高さで緑量感のある高木を数多く使っていることが一つの原因であると考えられます。

敷地内を通る市道も美しく整備され、緑豊かな通り抜け道路として有効に活用されています。また、外周道路との接道部分や、住棟間の隙間など、狭小な土地を上手く活用して緑化を行っており、これも全体の緑のボリューム感を向上させるために大いに役立っています。緑化に対する積極的な姿勢が、良い住居環境の形成に役立っている事例であると思います。

( 選考委員 山田 宏之 )

ジオグランデ茨木東中条さくら通り



敷地内の市道を再生し緑化



施設内通路の緑化



接道部の緑化

所在地：茨木市東中条町  
 主用途：集合住宅  
 建築主：阪急不動産 株式会社

【設計】(株)日建ハウジングシステム、(株)鴻池組  
 【建築施工】(株)鴻池組 【造園施工】クリエイティブ阪急

OURS(アワーズ)

■講評■

本施設は大川(旧淀川)リバーサイドに立地する集合住宅である。敷地全体は高建蔽型の開発であるが、東側を流れる大川沿いがエントランスでそこに集中した高木の緑化が導入されており、リバーサイドの公園を思わせるような空間となっている。落葉樹のケヤキとともに常緑樹のクスノキが混植されており四季を通じた緑の提供が意識されている。敷地中央には自走式の立体駐車場が立地しやや窮屈な空間となっているものの、住棟との間に草本類とともに中高木がきめ細かく配され駐車場の圧迫感を和らげている。

敷地南側の外周の一角にはプレイロットが配されているとともにラウンジに面して緑化されており、南側隣地への配慮も伺える。

( 委員長 増田 昇 )

所在地：大阪市北区長柄東  
 主用途：集合住宅  
 建築主：MID都市開発 株式会社  
 伊藤忠都市開発 株式会社  
 株式会社長谷エコーポレーション

【設計】・【建築施工】(株)長谷エコーポレーション  
 【造園施工】(株)日比谷アメニス



高木を多数配置したエントランス



立体駐車場の目隠し



提供公園



# 委員所感

## 遠藤委員

バラエティに富んだ多くの施設が応募いただいた中、素晴らしい緑化に取り組み、良好に管理されている施設が多く見られ嬉しく思いました。優良緑化賞も4回目になりますが、当初に比べると緑量、緑質、管理システムのバランスを考慮された計画が定着してきたように思います。さらに今回は緑化の目的、テーマを明確に示して、その場所の特性を活かした緑化や、鳥や昆虫、水辺の生物など生き物との共生を意識した取り組みが多かったのも特徴です。豊かで優良な「みどり」を提供することは、社会全体の様々な環境の改善に貢献することに繋がるのではないのでしょうか。

それぞれの施設の取り組みや姿勢が広く一般の方へも波及し、人々の緑や地域、環境に対する意識がより向上していくことを願っています。

## 間宮委員

20世紀はすべてのものが成長を続け、多くの人々が共有する価値観のもとに、モノづくりが行われたと思われれます。ところが21世紀に入り、膨大な情報により価値観が多様化され過ぎて、共有の価値観を得ることが困難な時代になったと思います。

環境問題においても、認識の違いによって様々な問題が発生することもあります。私たちにとっての暮らしを考えると、豊かな環境とはどのようなものか。“自然と共存する”これは豊かな暮らしを形成するために必然的であり、普遍的なテーマです。安直に目先の利便性を考えてつくってきた生活環境がどのような結果をもたらしたか。そこには様々な不安感や孤独感等のストレスと緊密する環境がうまれました。

都市を創るということは、ただものをつくるということだけではなく、人間の暮らしを豊かにすることが目的です。身近な自然、緑はやすらぎや心の豊かさのために必要なものです。おおさか優良緑化賞も一つの活動として都市の緑化に取り組み、効果的な緑を都市に再生する必要があります。

## 中井委員

前回より大幅に応募施設が増え、また、工場や駅、銀行などバラエティ豊かな施設からの応募があり、緑化の取り組みが幅が広がっていることを実感させられた。

特に、緑の質の高さが際だった。ビオトープを導入したり、背の高い保存樹を活用するなど、工夫がみられた。ビオトープを導入した施設も、集合住宅と工場であった。ビオトープの生き物の存在が住民や施設利用者の、緑への関心を高めているようだ。新設された生物多様性賞を受賞の「平和製罐大阪工場」では、メダカが従業員らの関心と呼び、いずれはホタルの舞う工場を目指しているという。

導入された緑は、活用されてよりその存在価値が高まる。今後は、緑化後の十分な活用方法も盛り込んだ、緑化計画が増えることを期待したい。

## 山田委員

第1回目から比べると、作品の平均的な質が劇的に向上していることを感じます。これには、おおさか優良緑化賞という制度が、広く設計者やデベロッパーに浸透してきて、幅広く応募作品が集まるようになってきた点と、過去3回の受賞作品を見て、受賞するためには、どの程度のレベルが必要であるかを、応募者が理解してきたという点が大きく効いているのではないかと考えます。また今回は、鉄道駅舎、銀行店舗といった、今までには見られなかったような種類の施設から応募があった点が注目されます。特に、阪急摂津市駅、京都銀行門真支店は、緑の量、緑の質、使われている技術などに目を見張る点が多く、文句無しに知事賞に推挙されました。従来の常識では、緑化をしない所、緑化には消極的であっても仕方ない所と考えられてきた施設が、このような積極的な緑化を行うようになったという現実、今後の都市緑化の進展に、明るい希望が持てるようになりました。



## 第3回 受賞施設

### 大阪府知事賞



**ジオ千里桃山台**  
所在地：豊中市新千里南町  
主用途：集合住宅  
建築主：阪急不動産(株)



**株式会社 大西 本社ビル**  
所在地：大阪府中央区久太郎町  
主用途：店舗  
建築主：(株)大西



**八尾市立  
リサイクルセンター**  
所在地：八尾市曙町  
主用途：公共施設  
建築主：八尾市

ナックス春日町本社ビル  
(泉大津市)



### 選考委員会奨励賞



ジオ北千里吉江台  
(吹田市)



BELISTA 弁天町  
(大阪市)



グランオーパス  
(枚方市)

なかもずアイランズ  
(堺市)



OPH千里佐竹台  
(吹田市)



高槻地域生活総合支援センター  
ぶれいすBe (高槻市)

## 第2回 受賞施設

### 大阪府知事賞



**ディーグラフォート千里中央**  
所在地：豊中市新千里西町  
主用途：集合住宅  
建築主：大和ハウス工業(株)



**スイートガーデン豊中旭ヶ丘**  
所在地：豊中市旭丘  
主用途：集合住宅  
建築主：総合地所(株)  
東急不動産(株)  
三交不動産(株)  
(株)長谷工コーポレーション



**日野病院**  
所在地：堺市東区北野田  
主用途：病院  
建築主：特定・特別医療法人 頌徳会

ザ・ヴァンデュールシティ  
(寝屋川市)



高齢者総合福祉施設 四条囃子  
(四条畷市)

### 選考委員会奨励賞

グッドタイム リビング 香里ヶ丘  
(枚方市)



ウェリス・ジオ千里佐竹台  
(吹田市)



千里リハビリテーション病院  
(箕面市)



ホソカワミクロン(株) 本社ビル  
(枚方市)



児童養護施設 あおぞら  
(岸和田市)







# おおさか優良緑化賞

大阪府自然環境保全条例(以下、条例)に基づいて緑化がなされたもののうち、府内の都市環境の改善に特に貢献する緑化や建築物敷地内の魅力向上に資する緑化、新たな緑化手法のモデルとなる優れた取組を顕彰します。

**応募資格** 敷地面積1,000㎡を超える以下の施設

- ・ 条例第33条による義務緑化を行ったもの
- ・ 条例第35条第3項で定める建築物で義務緑化を行ったもの
- ・ 条例第38条で指定する市町村において義務緑化を行ったもの

**応募期間** 顕彰実施年度の8月末まで適宜

- ・ 顕彰実施年度の前5年度から前年度までに緑化が完了したものが応募対象です。(但し、平成18年度以降に限る)

**応募方法** 応募は自薦です。応募用紙に必要事項を記入の上、関係書類(緑化完了書等)を添えてご提出ください。

○応募受付：各市町村緑化担当課、大阪府みどり・都市環境審みどり推進課

【必要書類】 ※応募用紙・同意書の様式は下記HPにてダウンロードできます

・ 応募用紙 ・ 緑化完了書(写し可) ・ 建築主の同意書

※設計・施工者が代理で応募することも可能です。

表彰の対象は建築主ですが、事例集には設計・施工者等も記載させていただきます。

・ その他任意で現況写真、コンセプト資料など

緑化の規模のほか、景観、利用への配慮・工夫、緑化への意欲等、施設緑化に関わるさまざまな努力や取組について、学識経験者等で構成する選考委員会で審査・評価され、受賞者が決定します。

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.pref.osaka.jp/midori/midori/03ryokasho.html>

おおさか優良緑化賞 検索



大阪府

【平成23年2月現在】  
環境森林水産部みどり・都市環境室  
〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目  
TEL 06(6944)9213 / FAX 06(6944)6749

メールアドレス [midorikankyo@sbox.pref.osaka.lg.jp](mailto:midorikankyo@sbox.pref.osaka.lg.jp)  
ホームページ <http://www.pref.osaka.jp/midori/midori/index.html>  
このパンフレットは5,000部作成し、1部あたりの単価は〇〇円です。

※【平成23年3月22日以降は咲洲庁舎へ移転予定です】  
移転後の住所・連絡先  
⇒〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16  
TEL 06(6210)9557 / FAX 06(6210)9551  
メールアドレス、ホームページは変更ありません